



ひなた野菜

環境共育講座

エコバック講座・芳香剤講座・堆肥を使ったプランター講座・布ぞうり作りなど、年に数回市民の交流の場としても開かれています。



3 生ごみ堆肥化事業 ひなたぼっこ

太陽と微生物の力で生ごみを減量し、栄養豊富な肥料へ。有機野菜の成長を助けるサステナブルな取り組みです。現在、市内では約600人のかたが「ひなたぼっこ」を使って堆肥づくりに参加しています。



生ごみ堆肥化講座

受講することで、どなたでも気軽に堆肥づくりをスタートできます。

- ・所要時間：1時間
- ・受講料：2,000円（ひなたぼっこ1個付き）

もったいないやん祭り

開催日 10月24日（土）、25日（日）
午前9時～午後3時

掘り出し物がたくさんあります。野菜の販売やフリーマーケットなど、ワクワクがいっぱいの2日間ですのでぜひお立ち寄りください。

フリーマーケット出店者を募集中です。応募は10月10日（土）までです。くわしくは、リサイクルパークへ問い合わせください。

TEL 25-9200 鳥羽市大明東町 2090-420



2 リサイクルショップ もったいないやん

市民のみなさんから持ち込まれた家具、工具、植木鉢などをお手頃価格で販売しています。

DIYに興味があるかた、自宅で観葉植物などを育てたいかたは、ぜひお越しください。探しているものが見つかるかもしれません。



もったいないやんで販売されているものです。売上金は「こども食堂」などに使われています。

地球環境にとって

リサイクルパークでは、生ごみ堆肥化ケース「ひなたぼっこ」を用いた生ごみ堆肥化事業に取り組んでいます。

ごみの減量化や資源化を目標にしているリサイクルパークは、国内だけでなく世界からも高く評価されています。

ネパールやボリビアなど、地球の裏側からも多くの視察団が訪れ、鳥羽の資源循環システムを学びにやってきます。私たちが家庭で出す生ごみが、世界に誇れるサステナブルな技術として未来の地球を支えています。



「捨てる」を「ちよっとイイコト」に
リサイクルパークへ直接持ち込めば、大掃除で大量に出た雑誌や段ボールなど、複数のリサイクルごみをその場でまとめて回収してもらえます。いつものごみ出しに困ったとき、知っておくとちよっと便利なスポットです。

1 リサイクルパークとは

ペットボトルや段ボールなど、資源ごみを一度に持ち込める、リサイクルごみステーション。敷地内を車に乗ったまま一周できる、ドライブスルーのようなスタイルが特徴です。

「これって何ごみ?」「指定袋に入らない…」と捨て方に困りがちな壊れた傘、フライパンなどの金属類。リサイクルパークなら、そのまま持ち込んで処分できます。分別方法や出し方に迷った時は、現地にいるスタッフへ気軽に声をかけてみてください。親切に教えてもらえるので、初めて利用するかたでも安心です。



環境課資源リサイクル係
TEL 25-1149